



地元のおいしいを食べよう

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となります。費用は無料、申込は不要（定員の記載があり申込の記載がないものは、当日、直接会場へ）。
 ①地区市民センター ②出張所 ③生涯学習センター ④うつのみや表参道スクエア ⑤地域コミュニティセンター ⑥市民活動センター ⑦ホームページ ⑧メールアドレス

宇都宮は、広大で肥沃な農地と豊富な水資源、長い日照時間など、農産物を作るのに恵まれた環境の下、お米を中心にナシ・トマト・イチゴなど本市ならではの安全・安心でおいしい農産物が生産されています。また、中心部を少し離れたと畑が多くみられ、普段私たちが食べている農産物がどのような所で作られているのかを知ることができます。

11月は地産地消強化月間です。この機会に改めて、宇都宮の農産物について考えてみましょう。

11月は地産地消強化月間

地元で採れた農産物を地元で食べることを地産地消といいます。地産地消は、農産物を遠くまで運ぶ必要がないので、生産者にとっては安全な農産物を新鮮なうちによりおいしく食卓に届けるという生産意欲の向上につながります。また、消費者にとっては生産者の顔が見え、安全・安心で新鮮な農産物を味わうことができます。このような取り

組みは、地元の農業を応援することにもなり、地域の活性化につながる取り組みです。

宇都宮のおいしいが買える、食べられる うつのみや地産地消推進店

本市では、積極的に地産地消に取り組んでいる一定の基準を満たした店舗を「うつのみや地産地消推進店」として認定しています。9月末現在、市内に134店舗あり、店舗は農業王国うつのみや <http://www.u-ag.net/jp/> や、市庁からご覧になれる他、うつのみや地産地消推進店マップを農林生産流通課（市役所7階）や各区・図書館などで配布しています。これらの店舗では地元のおいしい農産物を買ったり食べたりすることができると、ぜひ、この機会に味わってみてください。



また、うつのみや地産地消推進店も随時募集していますので、詳しくは、市庁をご覧ください。

採れたてうつのみや まるかじりキャンペーン

専用シールの付いた宇都宮市産農産物を購入し、シールを10枚集めて応募すると宇都宮のおいしいブランド農産物が当たるキャンペーンを実施しています。



▽期間 11月30日まで。

▽実施店舗 うつのみや地産地消推進店のうち41店舗。詳しくは、農業王国うつのみや <http://www.u-ag.net/jp/> をご覧ください。

農林業祭で

地元のおいしいを食べてみよう

旬の農産物や大鍋などを食べることができます。詳しくは、8ページをご覧ください。

アグリファンクラブ

会員募集

アグリファンクラブは、宇都宮の農業を応援する

◎うつのみや地産地消推進店など、本文中の(HP)について、詳しくは、右のQRコード（スマートフォン・タブレット専用）からご覧ください。



▲農業王国うつのみやQRコード



▲市庁QRコード

ゆうだい21に関わる人たちに話を聞きました

特集①



新しい品種のお米 「ゆうだい21」を知って欲しい

宇都宮ブリッツェンファーム代表
樋口 克之さん

私は、昨年「宇都宮ブリッツェン米(※1)」という商品として、「ゆうだい21」の生産・販売を開始しました。

イベントなどで試食をしてもらって、大変評判が良く、自信を持って提供できる品種だと思います。「ゆうだい21」の特徴は、もちもちしていて、冷めてもおいしいということ。最近は忙しい人も多いので、隙間時間に手軽なおにぎりとして食べるのもお勧めですね。

また、私は、地元の小学校の給食に自分の生産したお米を提供しています。地元の子供たちが食べてくれると思うと、安全でおいしいものをつくらうと頑張る意欲が湧いてきます。そして、子どもの頃に慣れ親しんだ味は大人になっても覚えているもの。何年たっても地元産の食材を求めてくれるのは、うれしいですね。

これからも、宇都宮で、安全安心なおいしい農産物をつくっていききたいと思います。

ゆうだい21を買う場所



▲宇都宮ブリッツェン米のパッケージ

- 宮カフェ(江野町)
- ろまんちっく村(新里町)
- 縁(川向町・JR宇都宮駅ビル内)など

※他の店舗など、詳しくは、農業王国うつのみや園(2ページ欄外参照)をご覧ください。

地元産の食材で おいしい料理を提供したい

鳥貞社長 **今泉 知明さん**

私は、風見鶏(中央1丁目)という飲食店を営んでいます。今年から、お店で提供のお米の一部に、樋口さんが生産している「ゆうだい21」を使うようになりました。冷めてもちもちしていておいしいお米と聞き、新しい挑戦をしてみようと、今回ご縁のあった「ゆうだい21」を使ってみることにしました。

体育祭などの大きな行事の時には数多くのお弁当の注文があり、朝早くから仕込み、遠方の配達先もあるので、冷めてもおいしい「ゆうだい21」の魅力が伝わるといいます。ぜひ機会があったら、皆さんにも味わってもらいたいですね。

また私は、普段から、たまねぎやじゃがいもなどの野菜も地元の農家から仕入れるようにしています。地元の食材を地元で消費することは、地域を活性化することにもつながると思います。それに宇都宮産の食材は、新鮮でおいしいので、サラダなどの生野菜も安心して提供することができます。

これからも、地元の農家を応援する気持ちを大切に、地元の農産物を積極的に使っていきたいと思います。



子どもたちに宇都宮の おいしいお米を

宇都宮の農家の皆さんが丹精込めて育てたおいしいお米に子どもの頃から親しんでもらい、食育や農業へ

ファンクラブです。メールマガジンで、農業イベントや旬の農産物情報など宇都宮の食と農に関する楽しい情報をお届けしています。▽入会方法 農業王国うつのみや園をご覧ください。

宇都宮のおいしいお米

宇都宮は全国的にも水田面積率が高く、約1万ヘクタールの広大な水田でおいしいお米が生産されています。また、特色あるお米も複数栽培されています。

▽特別栽培米コシヒカリ

一般的な栽培より化学肥料の窒素成分量と農薬使用量を5割以下に制限したお米。

▽みやおとめ コシヒカリの中でも食味値が75点以上のお米。

▽ゆうだい21 宇都宮大学が育成した新品種。コシヒカリより甘みや粘りが強いのが特徴。

の関心を高めてもらうため、本市では米消費拡大事業を実施しています。

■**うつのみやはじめてごはん** 味覚形成に重要な時期である1歳6カ月を迎えた子どもがいる家庭に、健診会場で、宇都宮市産の3種類のお米を配布。

■**げんきにごはん** 食べることの大切さや地元のお米のおいしさを知ってもらうため、新小学1年生・中学1年生のいる家庭に宇都宮市産の3種類のお米を配布。

■**学校給食への特別栽培米使用事業** 12月まで、JAうつのみやなどの協力により、市立小中学校(希望校のみ)の学校給食で宇都宮産の特別栽培米コシヒカリを提供。子どもたちに地元のお米に親しんでもらい、地域農業や地産地消、環境保全に対する関心や理解を高めてもらいます。



※1宇都宮ブリッツェン米は、城山地域の水稲生産グループ「城山水稲四石会」と、自転車プロロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」が連携して生産しているお米で、宇都宮ブリッツェンファームで生産したものです。品種はゆうだい21を使用。
◎この特集についての問い合わせは、農林生産流通課☎(632)2843へ。



農業王国うつのみや
ホームページも
ご覧ください

宇都宮市マスコット ミヤリ



地産地消で宇都宮を盛り上げよう!
抽選で「宇都宮のうまいもん」をプレゼント!

採れたて うつのみやまるかじり

キ ャ ン ペ ー ン



キャンペーン期間

2017年9月25日(月)～11月30日(木)

宇都宮産農産物
食べてGETだ!

抽選にはずれても、
ダブルチャンス!

再抽選チャンスあり! お楽しみに!
うつのみやの米 ゆうだい21
(2合真空パック)
アグリファンクラブ会員はトリプルチャンス!



100名様

※写真はイメージです

A賞 うつのみやの
うつのみやの
にっこり梨
(3,000円相当)



30名様

B賞 うつのみやの豚肉
(ゆめポーク、みや楽豚、みずほの
ポークのいずれか)
(2,000円相当)



30名様

C賞 うつのみやの米
ゆうだい21
(1,500円相当)



60名様

D賞 うつのみやの
旬の野菜詰め合わせ
(1,000円相当)



20名様

★「うつのみやアグリファンクラブ」とは、宇都宮の農業を応援するファンクラブです! 会員の方には、メールにて農業イベントや旬の農産物情報など宇都宮の食と農に関する楽しく美味しい情報をお届けします! ※アグリファンクラブ賞への応募の詳細は、応募用紙の表面をご覧ください。

地産地消で宇都宮を盛り上げよう!

抽選で「宇都宮のうまいもん」をプレゼント!

採れたて うつのみやまるかじり

キャンペーン

キャンペーン期間 2017年9月25日(月)～11月30日(木)



このミヤリーちゃん
シールが目印です!

対象商品に
貼付されている
シールを10枚
集めよう!

応募 方法

①



対象商品に貼付されている
シールをはがします。
※イラストはイメージです。

②



ミヤリーちゃんが
目印のシールです

③



アンケートにも
ご協力ください

シールを10枚集めて
専用の応募用紙に
お貼りください。

④



店頭に設置されている
応募箱に投函していただくか、
郵送にて応募ください。

⑤



抽選で
「宇都宮のうまいもん」を
プレゼントいたします。

実施店舗

- アピタ宇都宮店
- イトーヨーカドー宇都宮店
- えきの市場
- かましんカルナ 大曾店
- かましんカルナ 駅東店
- かましん 清原テクノ店
- かましん 雀宮店
- かましん 戸祭店
- かましん 平松本町店
- かましんミュゼ 豊郷台店
- コープ 鶴田店
- スーパーいまむら
- ビックミート山久鶴田町店
- 道の駅うつのみや
ろまんちっく村 おおぞら館

- 宮カフェ@miya
- ヤオハンスーパー 宇都宮店
- やさい&くだもの村 江曾島店
- やさい&くだもの村 金井台店
- やさい&くだもの村 桜通町店
- やさい&くだもの村 雀宮店
- やさい&くだもの村 戸祭店
- やさい&くだもの村 峰店
- ヨークベニマル 石井店
- ヨークベニマル 泉が丘店
- ヨークベニマル 鶴田店
- ヨークベニマル 西川田店
- ヨークベニマル 針ヶ谷店
- ヨークベニマル 細谷店
- ヨークベニマル 御幸が原店

- ヨークベニマル 築瀬店
- ヨークベニマル 若松原店
- 卵明舎
- アグリランドシティショップ
- こんびらさん(田原農産物直売所)
- JAグリーンインターパーク
- JAグリーンかみかわち
かみかわち農産物直売所
- 雀宮青空市
- とまつり農産物直売所
- パティスリーメルシー
地元産野菜コーナー
- ふれあいこもりや直売所
- 梵天の湯農産物直売所

※仕入れの状況によっては必ずしも対象の農産物が御用意出来ないこともありますので、詳しくは各店舗までお問い合わせください。

平成29年度「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」について

1 実施概要

- (1) 実施目的 宇都宮市産農産物の消費拡大のため、消費者が宇都宮市産農産物を選びやすい環境を作るとともに、消費者の購買意欲の向上を図るもの
- (2) 期 間 平成29年9月25日～11月30日
- (3) 事業内容 実施店舗にて販売される宇都宮市産農産物に目印となるシールを貼り付け、消費者に分かりやすくするとともに、プレゼント企画を併せて実施。
- (4) 結 果

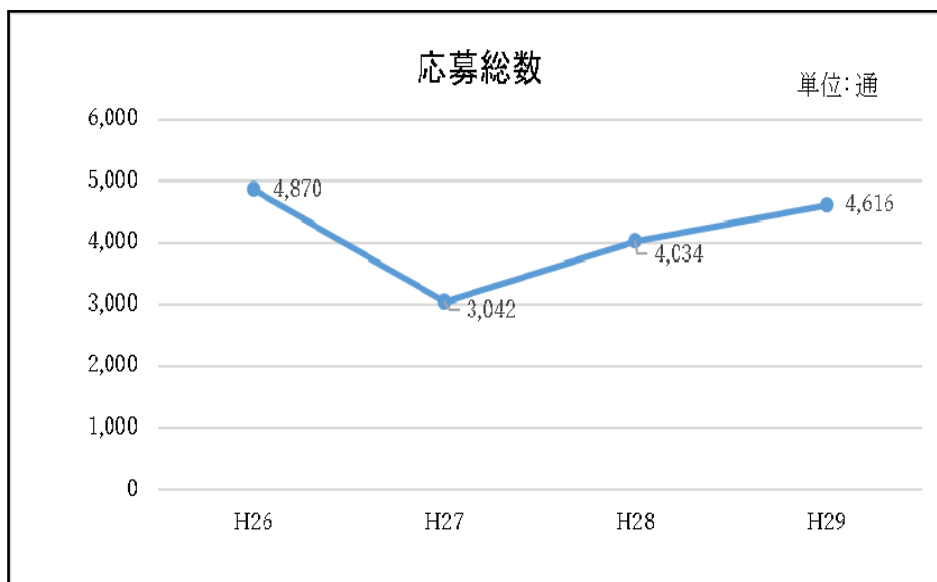
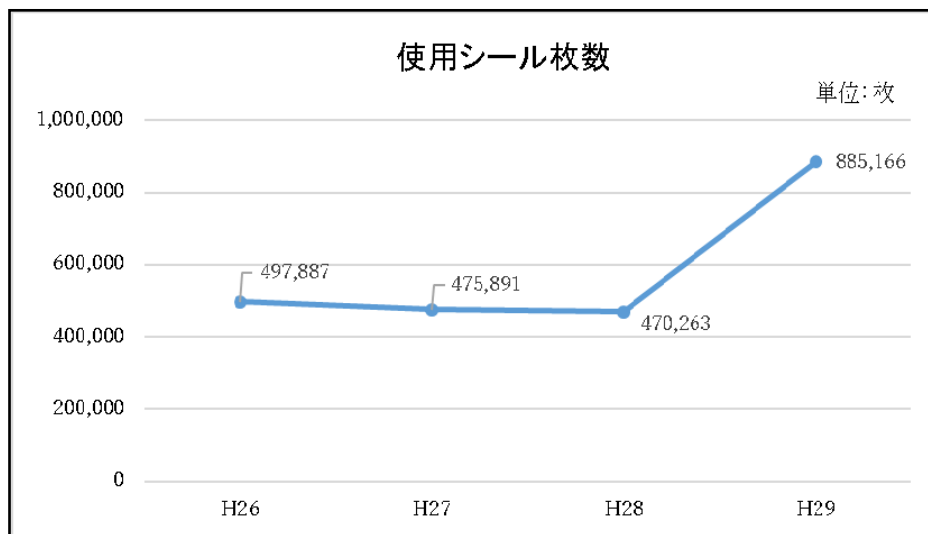
	H29年度	H28年度	前年比	H27年度
実施店舗数	41店舗	延べ69店舗 前期：33店舗 後期：36店舗	+ 約7店舗増 (1回あたり平均 34 店舗とする) ⇒20%増	延べ41店舗 前期：18店舗 後期：23店舗
使用シール枚数	885,166枚	940,527枚 前期：438,732枚 後期：501,795枚	+414,543枚 (1回あたり平均 470,263枚とする) ⇒88%増	951,782枚 前期：441,377枚 後期：510,405枚
応募総数	4,616通	8,069通 前期：4,111通 後期：3,958通	+582枚 (1回あたり平均 4,034通とする) ⇒14%増	6,085通 前期：2,819通 後期：3,266通

※ H29年度は1回のみの実施

【考察】

- ・ 使用シール枚数は昨年度平均の88%増となったことから、キャンペーン期間中における、宇都宮市産農産物の消費量の増加が見受けられる。今年度は1回のみで開催であったが、昨年度2回の合計と比較しても、約5%減にとどまったことから、各実施店舗にて取り扱う宇都宮市産農産物の数量が増加していると考えられる。
- ・ しかしながら、アンケートの応募総数に大きな増加がみられず、宇都宮市産農産物購入者のうちキャンペーンに参加する人が横ばいであることが伺える。

参考 過去4年間の使用シール枚数及び応募総数の推移

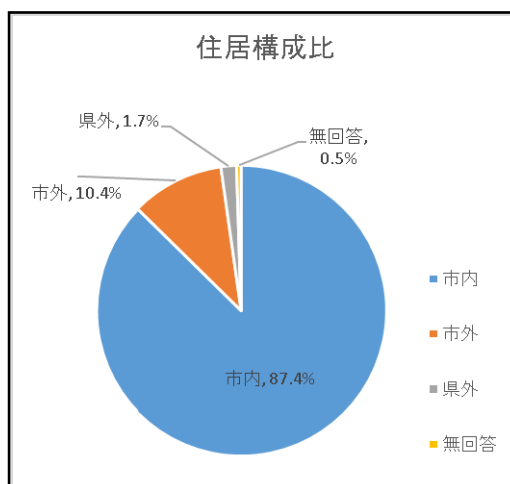


2 消費者アンケート結果

(1) 応募者属性 (応募総数 4,616名)

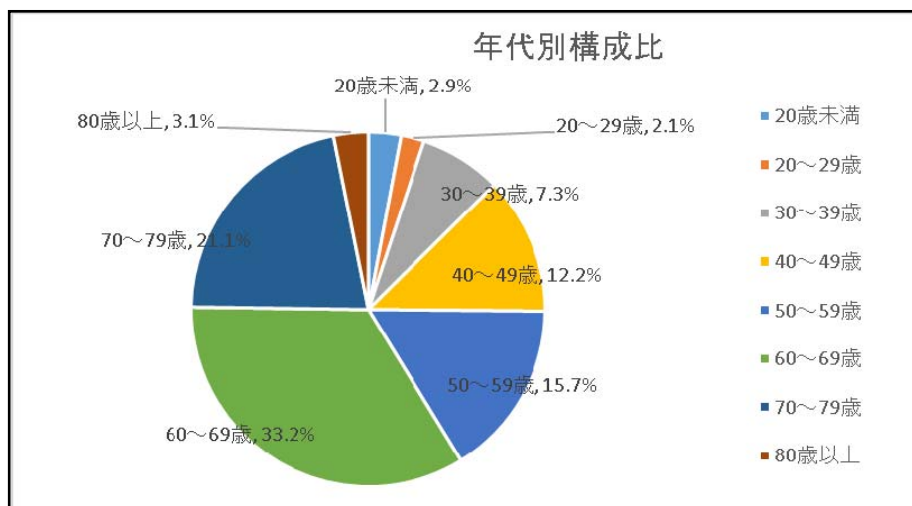
ア 住居構成

区分	人数(名)
市内	4,033
市外	480
県外	80
無回答	23
合計	4,616



イ 年代

年代	人数	構成比
20歳未満	134	2.9%
20～29歳	96	2.1%
30～39歳	338	7.3%
40～49歳	565	12.2%
50～59歳	725	15.7%
60～69歳	1,532	33.2%
70～79歳	973	21.1%
80歳以上	143	3.1%
無回答	110	2.4%
合計	4,616	100.0%



ウ 応募店（上位5店舗）

No.	店舗名	応募者数
1	JA グリーンインターパーク	864
2	道の駅うつのみや ろまんちっく村 あおぞら館	626
3	JA グリーンかみかわち かみかわち農産物直売所	298
4	梵天の湯農産物直売所	241
5	コープ鶴田店	256

(参考) 使用シール枚数について（上位5店舗）

No.	店舗名	使用シール枚数
1	道の駅うつのみや ろまんちっく村 あおぞら館	210,000
2	梵天の湯農産物直売所	105,000
3	やさい&くだもの村 江曾島店	85,000
4	やさい&くだもの村 桜通り店	78,000
5	JA グリーンインターパーク	75,000

【考察】

- ・ 応募者は、約 87%が市内在住である。また、60代から70代の消費者が過半数を占めており、20代から30代の世代は全体の約9%となった。
- ・ 市外及び県外の応募者が全体の約14%いることから、対外的な宇都宮市産農産物の認知度向上に寄与していることが伺える。
- ・ 各店舗の使用シール枚数と応募利用者数は比例していない。最もシールを使用した「道の駅うつのみやろまんちっく村あおぞら館」は応募者数では2位となり、使用シール枚数では5位であった。「JA グリーンインターパーク」は応募者数が最多であった。また、比較的使用シール枚数の多かった「やさい&くだもの村」の江曾島店及び桜通り店でも、応募者数が平均73名であり、キャンペーンへの応募数が少なかったことが伺える。
- ・ 「やさい&くだもの村」は今年度初めての参加となり応募者が少なかったが、応募店上位5店舗はいずれも例年参加している店舗であったため、継続的な開催により消費者の認知度が高まっていると考えられる。

(2) 各設問結果

ア このキャンペーンを何で知りましたか（複数回答可）

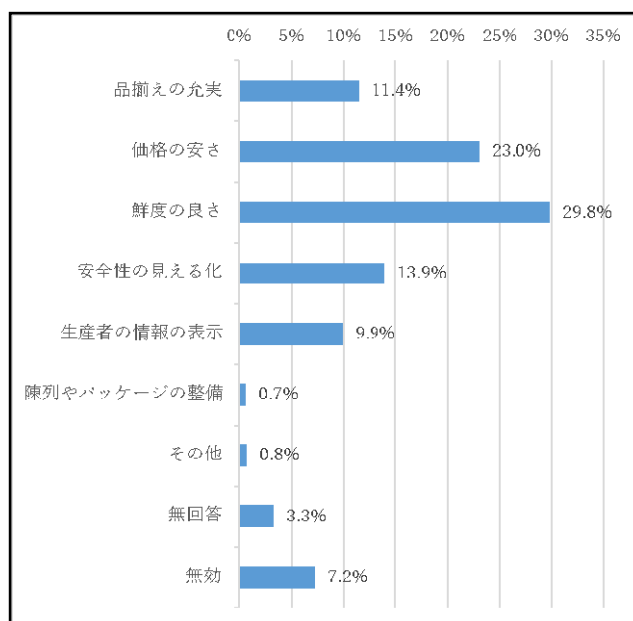
媒体	人数	構成比
広報うつのみや	411	7.9%
農業王国うつのみやホームページ	29	0.6%
農業王国うつのみやフェイスブック	20	0.4%
市ホームページ	32	0.6%
店頭	3,828	73.1%
アグリファンクラブのメルマガ	27	0.5%
チラシ・ポスター	587	11.2%
トチペ	140	2.7%
その他	160	3.1%
無回答	0	0.0%
合計	5,234	100.0%

イ このキャンペーンをきっかけに、今後、宇都宮市産農産物を購入したいと思いますか

区分	優先的に購入したい	既に優先的に購入している	特に購入したいと思わない	無回答	無効	合計
構成比	30.6%	58.8%	0.5%	9.7%	0.4%	100.0%
人数	1,427	2,736	23	451	20	4,657

ウ 宇都宮市産農産物を購入するポイントを3つ教えてください

宇都宮市産農産物を購入するポイント	人数	構成比
品揃えの充実	1,519	11.4%
価格の安さ	3,058	23.0%
鮮度の良さ	3,960	29.8%
安全性の見える化	1,851	13.9%
生産者の情報の表示	1,315	9.9%
陳列やパッケージの整備	89	0.7%
その他	101	0.8%
無回答	433	3.3%
無効	961	7.2%
合計	13,287	100.0%



エ 地産地消が推進されるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか

項目	人数	構成比
宇都宮市産農産物を取り扱う店の増加	2,615	54.4%
イベントなどでの宇都宮市産農産物 PR	895	18.6%
キャンペーンの充実	471	9.8%
ホームページや SNS などを使った情報提供	139	2.9%
その他	49	1.0%
無回答	548	11.4%
無効	86	1.8%
合計	4,803	100.0%

【考察】

- ・ 消費者へのキャンペーン周知方法について、消費者は全世代に渡って「店頭」でキャンペーンを知る人が多く、次いで、チラシ・ポスターとなっていることから、概ね店内でのキャンペーン周知が大きな影響を与えていることが分かる。
- ・ 宇都宮市産農産物の購入意欲については、「既に優先的に購入している」との回答が約6割を占め、本キャンペーンを通して継続的に宇都宮市産農産物を購入していることが伺える。
- ・ 地産地消推進の取組強化には、「宇都宮市産農産物を取り扱う店の増加」との回答が最多で過半数となり、昨年度と概ね同じ結果であったことから、変わらず消費者が身近に宇都宮市産農産物を購入及び食べることのできる環境を求めている、あるいは未だ地産地消推進店の認知度が低い可能性が考えられる。

(3) 意見・感想等

ア 消費者

- ・ 地元の農産物を意識する良い機会となるので、定期的を開催してほしい。
- ・ 去年はどこでシールの付いている商品が購入できるかわからなかったが、今年は取扱店が増えたことからわかりやすかった。
- ・ 毎年楽しみであり、子供がシールを見つけると教えてくれる等、食育にも役立っている。
- ・ 賞品の当選者数を増やしてほしい。
- ・ 生産者の方が分かると安心して購入できる。レシピを付けて、新野菜など直売所に出してほしい。

イ 生産者

- ・ シールがあることで、購入数が増えた。
- ・ 旬の野菜が豊富な時期に実施してほしい。

ウ 事業者

- ・ 宇都宮市産以外の農産物との差別化が打ち出せた。
- ・ 手間をかけてシールを貼っているため、賞品当選者数を増やしてほしい。
- ・ 生産者による試食販売会等の実施や、ポスター等の資材を大きく目立たせる等により店内におけるキャンペーン周知を強化するとよいのではないかと。

3 評価

昨年度と比較して実施店舗が増えたことから、消費者が宇都宮市産農産物を購入できる環境が拡大し、宇都宮市産農産物の消費量の増加が伺えた。しかしながら、キャンペーンへの参加率については、例年継続して実施している店舗の消費者は高いが、新規店舗の消費者は参加率が低く、その認知度も低いことから、店舗における継続的なキャンペーンの実施及び店内の周知の強化が必要である。

また、アンケートから、生産者による試食販売会やレシピの紹介等、農産物の食べ方を知りたい消費者が多くみられ、シールを実際に貼っている生産者との交流機会を設けることも、キャンペーンの周知効果や充実につながると考えられる。



みやのとれたて地産地消フェア

～うつのみやの“美味しいもの”満喫～

主催：宇都宮市地産地消推進会議
運営：栃木リビング新聞社

保存版

期間 2月23日(金)～3月18日(日)



フェアメニュー
を食べてスタンプ
を集めよう!
宇都宮産農産物が
90人に当たる

- スタンプ5個コース
A賞「宇都宮牛」ステーキ 1万円相当…3人
※B賞・C賞のダブルチャンスあり
- スタンプ3個コース
B賞「とちぎゆめポーク」4000円相当…7人
C賞 ブランドトマト「プレミアム7」3000円相当…15人
- スタンプ1個コース
D賞「とちおとめ」1箱 1600円相当…25人
E賞 宇都宮ブリッセン米(2合真空パック) 500円相当…40人



新鮮でおいしい地元の農産物を使ったメニューを提供する「うつのみや地産地消推進店」。その飲食店26店舗が参加して、「みやのとれたて地産地消フェア」を2月23日(金)～3月18日(日)開催。フェアメニューを食べてスタンプを集めると、宇都宮産の美味しいものが90人に当たります。

「みやのとれたて地産地消フェア」事務局(栃木リビング新聞社) ☎028-600-8800(平日10:00～18:00)



「うつのみや地産地消推進店」みやのとれ参加店舗 <🎁印の店舗はフェアメニューに特典有りの店舗。HPで確認を!>

1 フルーツダイニング パレット 下戸祭店

「パレットオリジナル松花堂弁当」2500円

宇都宮産の食材や栃木県産のローストビーフ、元祖フルーツサンドといったパレットの“おいしい”を詰め込んだお弁当。

宇都宮市下戸祭2-18-1 / 11:00～21:00営業/無休/☎028(621)8020

2 AGカフェ

「宮っ子セット」2500円

宇都宮市産の旬の素材(原木シイタケ・落花生・フキノトウ)を使った、前菜・パスタ・ハンバーグのフェア特別セット。

宇都宮市山本3-14-7 / 11:30～19:00(月)は18:00、土・日は21:00営業/火曜日、第1・3・5水曜日定休/☎028(625)4455

3 スペインバル RicoRico

「とちおとめのプリン」378円

宇都宮産の卵ととちおとめを使った、なめらかなプリン。フレッシュなイチゴとキウイをあしらひ、練乳ソース付き。

宇都宮市堀田4-2-18 / 平日11:00～14:00、17:00～0:00(金曜・土曜・祝前日17:00～2:00)営業/日曜日定休/☎028(678)2525

4 八寸庵 花子

「花子おまかせコース」3240円～

宇都宮産タマネギのオープン焼き、コシヒカリおこげのそば米あんかけ、シイタケのチーズ焼きなど洋中のメニュー。

宇都宮市東馬場1-13-14 / 17:30～22:30営業/日曜・祝日定休/☎028(643)2535

5 小時飯屋

「地産地消の健康ランチ」800円

健康を考えた日替わりランチを用意。宇都宮産の新鮮な野菜で、おいしさアップ。家庭的な店内でゆったり味わって。

宇都宮市大通り1-2-12 / 11:00～18:00営業/月曜・土曜・日曜・祝日定休/☎070(6474)0141(携帯)

6 石の蔵

「みやの地産地消特別コース」4000円(要予約)

宇都宮産の米や野菜、卵などを中心に全7品コース。主菜は那須鶏の柚子山椒焼き。地元素材へのこだわりを堪能して。

宇都宮市東馬場2-8-8 / 11:30～14:30、17:30～22:30営業/不定休・3月10日(土)クローズ/☎028(622)5488

7 宮カフェ2F Hills Café

「チーズフォンデュ付きランチセット」1404円

宇都宮産の野菜を使ったチーズフォンデュがセットになった、超お得なランチメニュー。パスタがピザが選べます。

宇都宮市江野町2-11宮カフェ2F / 11:00～23:00営業/無休/☎028(666)8785

8 ダイニング蔵 おしゃらく

「丸ごとトマトのおでん」640円

宇都宮産トマトを使った、トマトおでん。トマト風味のだし汁は絶品!春菊と万能ネギを添えて。

宇都宮市宮園町8-9 / 11:30～14:30、17:30～21:00L.O.営業/月曜日定休/☎028(638)0409

9 中国料理 あん

「宇都宮野菜の翡翠がゆ」ランチセット1300円
単品(飯のみ)900円

春の景色のような翡翠色のおかゆ。宇都宮産野菜と五穀米、干し貝柱で炊き上げたやさしい味わい。セットは5品で。

宇都宮市元今泉1-23-7 / 11:30～14:30(14:00LO)、17:30～23:00(22:00LO)営業/日曜日定休/☎028(306)1355

10 ホテルマイステイズ宇都宮「トラベルカフェ」

「チーズ入り特製オムライス」1250円

宇都宮産の新鮮な卵とお米を使った、チーズ入りの特製オムライス。サラダ・スープ・ドリンクのバー付きで楽しんで。

宇都宮市東宿郷2-4-1 / 11:30～14:30(14:00LO)営業/日曜・祝日定休/☎028(611)3464

11 蕎麦処 栗林

「春の天ぷらセット」1300円

待ちに待った“春”が来ました。宇都宮産のセリ・ウド・フキノトウを、さっくりと天ぷらに。そばと一緒に春を感じて!

宇都宮市下栗町2932-37 / 11:30～14:00営業/日・月・火曜日定休/☎028(636)1460

12 和牛ステーキ 桜

「宇都宮牛サーロインステーキセット150g」5940円

和牛本来のうまみを楽しめる、宇都宮産のサーロインステーキ。宇都宮産米やおとめと共に笑顔のひとつときを!

宇都宮市馬場2-16-8ベルグランドハイツ1F / 11:30～15:00(14:00LO)、17:00～22:00(21:00LO)営業/無休/☎028(664)3343

13 レストラン シャレー

「煮込みハンバーグセット」850円

手作りハンバーグを、宇都宮産トマトたっぷりのデミグラスソースでじっくり煮込みました。ライスにかけてどうぞ!〈ランチのみ〉

宇都宮市下平出町1443 / 11:00～22:00(21:30LO)営業/木曜日定休/☎028(662)3338

14 秘伝の本格手打ち そば仁

「盛りそば」1500円
「野菜天ぷら」200円

のど越しの良い自慢のそばは、深い味わいの「宇都宮産そば粉」を使用。サクサクの天ぷらは、自家栽培の旬の野菜を4品。

宇都宮市平出町5808-1 / 11:30～14:00(そばがなくなりしだい終了)営業/月・火・水曜日定休/☎028(661)0863

15 炭火焼肉レストラン おおつか宇都宮店

「宮牛霜降りセット」(5～6人前)1万7064円

宇都宮牛の中でも最上級のブランド「極」を使った、特別なカルビとロースの組み合わせです。岡本産のごはんと一緒に!

宇都宮市下栗町695-7 / 11:00～14:30、17:00～22:00営業/不定休/☎028(657)5529

16 東北自動車道土河内SA(上り) レストランあさや

「新里ねぎと宇都宮産シイタケの牛すじ鍋定食」1300円(11:00～)

新里ねぎと肉厚な宇都宮産シイタケを使った、すき焼き風の牛すじ鍋。宇都宮産のお米と相性抜群。〈3月11日まで限定〉

宇都宮市今里町1145 / 11:00～22:00(21:30LO、土曜・日曜・祝日は7:00～)営業/無休/☎028(674)2111

17 そば処 美濃里庵

「かき揚げセット」1000円

宇都宮産の季節の野菜本来のおいしさを味わえる、かき揚げ。揚げたてサクサクを、粗挽きそばと一緒に楽しんで。

宇都宮市松田新田町111-4 / 11:30～17:00(そばがなくなりしだい終了)営業/月曜日定休/☎028(680)4180

18 Natural works village (Kitchen hoshinowa)

「3種盛りフルーツアイス」500円

宇都宮産の彩りある野菜やフルーツをシャーベットアイスに。手作りのおいしさを味わって!ドリンク割引あり。

宇都宮市上小倉町2571-1 / 11:00～17:00(16:00LO)営業/月曜日定休。臨時休業あり/☎028(666)0072

19 レストラン 象の家

「象の家特製コースメニュー」1人前1300円(2人前～)

大谷で採れたイチゴ・ニンジン・レタス・ミントの、タイのフルーツサラダ、トムヤムクン、魚料理、タイ風あんかけ丼の4品で。

宇都宮市大谷町1092 / 11:30～14:00、17:30～20:30(20:00LO)営業/月曜日(連休の場合火曜日)定休/☎028(652)1422

20 tomotina (トモッティーナ)

「地場野菜のビーフシチューワンプレートランチ」1800円

特製ビーフシチューと、宇都宮産新鮮野菜サラダのワンプレート。ドリンク付きのお勧めランチセット!特典でデザート。

宇都宮市大谷町1249 / 11:00～17:00(14:00LO)営業/月・木曜日定休/☎028(689)9577

21 道の駅うつのみや ろまんちっく村「麦の楽園」

「宇都宮産ゆめポークのしゃぶしゃぶ温野菜添え」1180円

うまみたっぷりの宇都宮産「とちぎゆめポーク」と地場野菜を、特製オリジナルソースで食べる“逸品”。特典でセットに!

宇都宮市新里町丙254 / 10:00～21:00(20:30LO、11:00までドリンクのみ)営業/第2火曜日定休/☎028(665)8800

22 道の駅うつのみや ろまんちっく村「ゆず庵」

「ゆず庵特製しもつかれ汁鍋」セット1160円・単品980円

宇都宮産冬野菜のネギやハクサイに、柔らかい「とちぎゆめポーク」と鮮や大豆を入れて、栄養満点の特製鍋に!

宇都宮市新里町丙254 / 10:00～21:00(20:30LO)営業/第2火曜日定休/☎028(665)8800

23 道の駅うつのみや ろまんちっく村「くにもと」

「ランチ限定丼セット」750円

半盛りそばと半盛りうどんの両方が付くお得セット。小天井には、宇都宮産のはんに風味豊かな地元野菜のかき揚げを!

宇都宮市新里町丙254 / 10:00～18:00(17:30LO)営業/第2火曜日定休/☎028(665)8800

24 道の駅うつのみや ろまんちっく村「にっさと」

「醤油ラーメン&ライス(香の物付き)」780円

宇都宮産のネギや青菜を使用したオリジナル麺のしょう油ラーメンに、宇都宮産の美味しいご飯を添えて。ぜひ味わって!

宇都宮市新里町丙254 / 10:00～18:00(17:30LO)営業/第2火曜日定休/☎028(665)8800

25 ベジタブルキッチン サンテ

「地産地消はじめしセット」1640円

オーブンからデザートまで、宇都宮産の野菜をたっぷり使ったセット。お米や卵も地元産。メインは4種類から選べます。

宇都宮市砥上町1085-2 / 11:30～15:00(14:00LO)、18:00～22:00(20:30LO)営業/火曜日夜と水曜日定休。臨時休業あり/☎028(648)9831

26 レストラン アンサンブル

「オーバルランチ」1512円

宇都宮産のお米を使った昆布ごはんや、地場野菜のサラダを盛り合わせたオーバルランチ。デザート・飲み物付きです。

宇都宮市今宮1-6-12 / 11:30～15:00(14:00LO)、18:00～21:00(20:00LO)営業/月曜日と第2・4・5日曜日定休/☎028(684)6299

みんなでお出かけよう!

参加店の詳しい地図や特典内容はリビングとちぎ http://www.m-living.com/u_chisanchisyou/ で!

「うつのみや地産地消推進店」の飲食店を活用したキャンペーン及び 地産地消推進モニター制度について

○ 実施概要

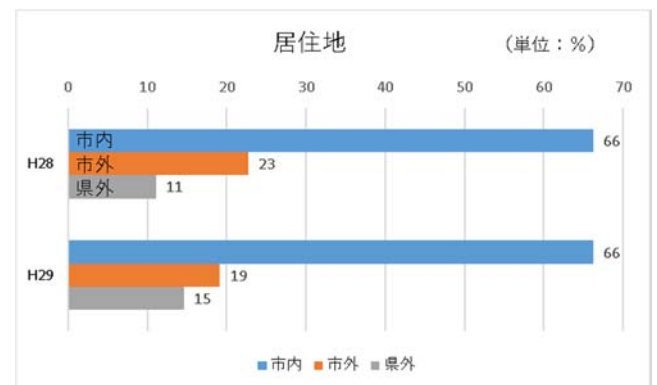
- (1) 名 称 みやのとれたて 地産地消フェア
- (2) 内 容 フェア期間中、宇都宮市産農産物を3品目以上使用したフェアメニューを提供。併せて、スタンプラリーにより、コース別の賞品を抽選でプレゼントする企画を実施。
- (3) 期 間 平成30年2月23～3月18日
- (4) 実施店舗 うつのみや地産地消推進店(飲食店) 26店舗

○ 推進店(飲食店)を活用したキャンペーンについて

(1) 消費者アンケート結果(774 枚回収)

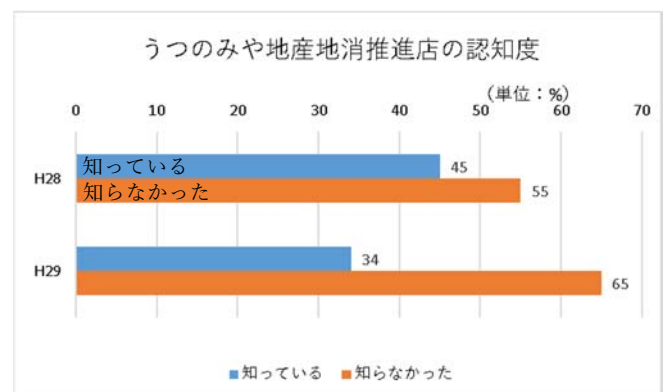
① 居住地

- ・全体の66%が市内在住であり、その他19%が市外、15%が県外在住者であった。
- ・昨年度は県外在住者が11%であったのに対し、今年度は15%とわずかながら県外在住者の参加数が増加した。
- ・その他県外参加者は、埼玉県が28名、茨城県22名、東京都が17名と関東からの来客が多かった。



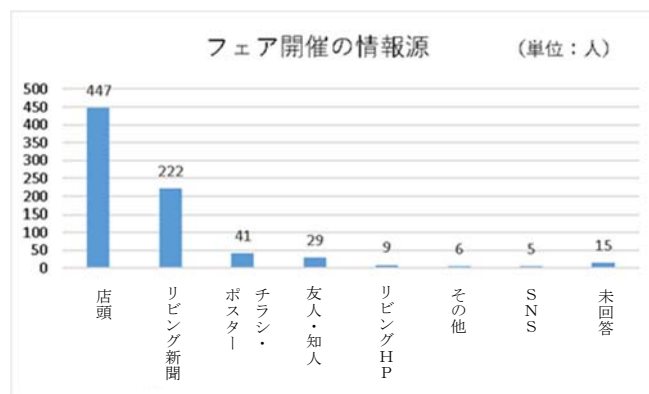
② 地産地消推進店の認知度

- ・認知度は全体の約3割となり、昨年度と比較すると低い結果となったが、結果として、本フェアを機に新しく「地産地消推進店」を知る消費者が多くいたと考えられる。



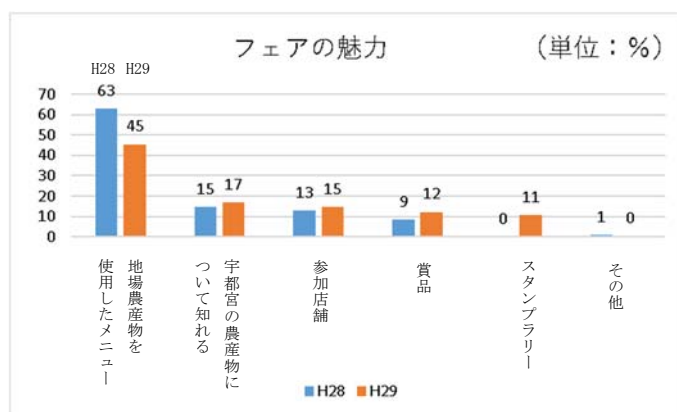
③ フェア実施の情報源

- ・全体の約6割が店頭、次いで、約3割がリビング新聞からフェアの情報を得ている。
- ・昨年度も店頭でフェアを知る消費者が約7割いたことから、対外的に発信しているPR方法は費用対効果が薄く、今後は店内や店舗の外での周知・啓発が効果的であると考えられる。



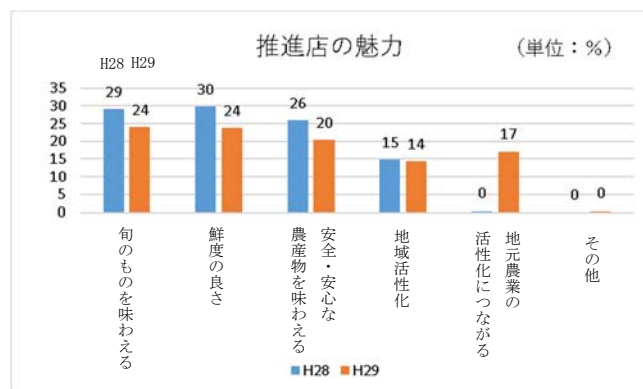
④ フェアの魅力 (H28より選択肢一部変更)

- ・全体の約5割が、フェアメニューに魅力を感じており、次いで、「宇都宮の農産物について知れる」と回答した者が約2割だった。
- ・消費者アンケート内に「野菜以外でも、牛肉など、たくさんの農畜産物が作られていることを知った」「新里ねぎが美味しかった。今回初めて知り、全国の方に知っていただきたい味でした」等の感想があり、フェアが宇都宮市産農産物への関心や、理解度向上に繋がっていると考えられる。



⑤ 宇都宮市産農産物を味わうことのできる飲食店の魅力 (H28より選択肢一部変更)

- ・「旬のものを味わえる」、「鮮度の良さ」が約24%と同程度重視され、次いで「安全・安心」を約20%が重視していた。
- ・昨年度と傾向は大きく変わらず、自らが食べる農産物の鮮度や安全が重視された。



(2) 事業者アンケートにおける主な意見

- ・新規のお客様にPRできる良い機会だった
- ・地域活性化, 宇都宮のすばらしさを知ってもらうためにも, このような取組は価値あるものだと思う。
- ・フェアの期間が短かった。
- ・野菜の種類も増え値段も安くなる, 夏～秋頃の開催を希望。
- ・使用する農産物の生産者の顔が見えるような仕組みがあると良い。
- ・卓上POPがあるとPRしやすい。
- ・テーマを統一し人気投票を行うなど, フェア自体を盛り上げる仕組みがあってもよいのではないか。

(3) 評価

今回のフェアでは推進店を知らないお客様が多かったことから, 新しく推進店を知る方や宇都宮市産農産物に関心を持つ方が多かったように思われ, 「宇都宮牛」や「新里ねぎ」等, 宇都宮ならではの農産物の認知度向上に寄与していると考えられる。